

問合せ先

情報政策課情報化推進係

電話：0126-25-8004（直通）

担当者：谷口

北海道大学・岩見沢市・NTT グループによる スマート農業の社会実装に向けた新たな取り組みの開始について

国立大学法人北海道大学（以下、「北大」という。）、岩見沢市、NTT 東日本株式会社（以下、「NTT 東日本」という。）、株式会社NTT ドコモ（以下、「NTT ドコモ」という。）は、2019年に締結した産学官連携協定に基づき、「心ゆたかな暮らし」（Well-Being）と「持続可能な環境・社会・経済」（Sustainability）の実現に向けた新たな取り組みを開始します。

【これまでの経緯】 北大、岩見沢市、NTT 東日本、NTT ドコモは、2019年6月28日に産学官連携協定を締結し、最先端の農業ロボット技術と情報通信技術の活用による世界トップレベルのスマート農業およびサステイナブルなスマートアグリシティの実現に向けて以下の検討や実証を行ってきました。

- 取り組みテーマ① 高精度測位・位置情報配信基盤
- 取り組みテーマ② 次世代地域ネットワーク
- 取り組みテーマ③ 高度情報処理技術およびAI 基盤

※参考 <https://group.ntt.jp/newsrelease/2019/06/28/190628a.html>
ニュースリリース 2019年6月28日

活動を通じ、スマート農業およびスマートシティを支える通信環境に関する知見や技術的なノウハウが蓄積された一方で、データ駆動型農業の実現に向け、通信環境の整備やデータの利活用手法に新たな検討を行うため、4者（北大、岩見沢市、NTT 東日本、NTT ドコモ）は新たな課題の整理と検討に継続して取り組むこととしました。

【新たな取り組みにより目指す姿】

これまでの取り組みを活かし、スマート農業およびスマートシティを支えるデータ駆動型農業の実現に向けて多様なデータの収集・蓄積を行い、多方面のプレイヤーが当該データの分析・シミュレーション可能な環境を整備することで、農業分野はもとより、地域住民生活の質の向上や地域経済の活性化に繋げ「どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指します。

【取り組み概要】

このような背景のもと、4 者は本協定を継続し、データ駆動型農業の実現に向けて新たな下記 3 つテーマに取り組みます。

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 新たな取り組みテーマ① | スマート農業の高度化に向けたデータ利活用の検討 |
| 新たな取り組みテーマ② | データ駆動型農業の実現に向けた通信インフラ整備モデルの検討 |
| 新たな取り組みテーマ③ | 地域社会 DX に向けた課題解決と取り組みの検討 |

【取り組み期間】

2025 年（令和 7 年）8 月 1 日～2028 年（令和 10 年）3 月 31 日